

当ガイドラインは感染リスクを軽減するものであり、感染する可能性がゼロではないということをご理解ください。誰もが感染する可能性を持っています。

※ 本大会主催者および主管(以下「主催者」という)

### 【大会開催前】

1. 本ガイドライン適用に当たり、各チームで感染対策責任者(2名以内)を必ず置くものとする。
2. 各チームの感染対策責任者は、大会の参加に当たり、当ガイドラインを熟知した上で **チーム内への周知と感染対策を十分に行うこと。**
3. 本大会に参加可能かどうかは各チームの自由意思および自己の責任においてチーム責任者自らが判断し、主催者へ報告すること。なお、**個別の要求に関して主催者は対応しない。**
4. 各チームの感染対策責任者は、当日入館する全員(選手、指導者、保護者等)の直近2週間の動向(首都圏への往来、海外渡航がないこと、県外チームと試合をした等)を必ず情報提供すること。
5. 大会に参加するチームは、当日自宅にて検温を実施してから会場入りし、各チームの感染対策責任者が受付で本大会の感染対策責任者へ大会当日までの**2週間分のチェックシートを当日入館する全員分必ず提出**すること。また、本大会の感染対策責任者は提出されたチェックシートを適切に1か月間、管理・保管し、公的機関(保健所等)より開示を求められた場合は、速やかに提出するものとする。
6. 大会当日受付にて、会場入館時に**体温測定およびチェックシートの提出ができない方、動向の情報提供ができない方は原則入館させない。**また、**場合によっては各チームの入館人数を制限する場合がある。**
7. チームの会場入りについて会場内外での密を避けるために、原則試合開始1時間前とする。
8. **当日入館する全員が必ずマスクを着用すること。(特別な事情がある場合を除き入館者の絶対的義務とする)**
9. 昼食は食堂で指定時間にて済ませること。持込の場合は控え場所にて昼食を摂り、密にならないようにすること。その他の場所における飲食は一切禁止とする(熱中症予防の為、水分補給については可とする)。なお、食品衛生の観点から、仕出し店等、これに準ずる業者からの食品調達は禁止とする。
10. 3密対策のため、**開会式、レセプションは行わない。**表彰については4位まで行うこととし、原則として**当該試合(最終戦)終了後案内する。**

### 【ゲームについて】

11. **試合の前後は必ず手洗いをすること。**
12. **ゲーム開始前はできる限りマスクの着用をすること。**
13. ゲーム中、**試合に出ている選手以外はスタッフも含めマスク着用のこと**(クォータータイム・タイムアウト時も同様とする)。ハーフタイムでは、できる限り試合に出ている選手もマスク着用をすること。
14. チームスタッフがT0及び審判へ話しかける場合は、**マスクの着用を厳守すること。ベンチから指示を出す際も同様、マスクは外さないこと。**

15. **T0担当チームはマスクの着用を厳守すること。**またT0(モップ係含む)は9名以内、後ろに付くスタッフは3名以内とする。
16. ゲーム間の時間を十分に確保し、チームはコート以外での練習を行わないようにする。
17. 観客とベンチ控え選手の応援については、声を出さずに、**「応援は拍手で」を徹底すること。(厳守!)守れない方は主催者にて判断し施設内から退去させる。**
18. 各チームの感染対策責任者は、**ゲーム開始前とゲーム終了後に使用したベンチと観客席の消毒を行うこと(消毒液等は各チームで準備のこと)。**
19. T0担当チームの感染対策責任者は、ゲーム開始前、クォーターごとおよびゲーム終了後にボール、T0席の消毒を行うこと。またできるだけ筆記用具は各チームで用意してください。(T0機器の消毒は、直接消毒液を噴霧しないように注意する)。
20. 試合コートの入退場口でチーム同士が交わらないよう、**試合終了直前まで控室で待機のうち、代表者が試合終了を確認し、代表者の指示により別途指定するルートにて入退場すること。**T0担当チームはT0席、T0機器及びベンチの消毒終了後に次の担当チームがコートへ入ること。また、**試合前後の審判、コーチ、選手、T0とのあいさつ及び握手、観客席への挨拶はしないこと。また、体育館入退場の際は手指消毒を行うこと(入口ホールに消毒液を設置しています)**

#### **【ゲーム終了後】**

21. チームは、試合終了後できる限り必要以上にとどまらず、すぐに控室へ向かうこと。
22. 体育館ロビーや喫煙所等で密にならないよう注意すること。特に**体育館入口付近で立ち止まり通路を塞ぐ行為は「密」発生最大の原因となるため厳禁とする。**

#### **【大会終了後】**

23. 各チームの感染対策責任者は、大会参加日から14日以内に感染が確認された場合、主催者へ速やかに報告すること。また、主催者は秋田県バスケットボール協会へ報告する。
24. 参加チームから新型コロナウイルス感染確認の連絡を受けた場合には、保健所等の指示に従い濃厚接触者の把握及び行動履歴の確認等、積極的にできる限り正確な情報提供を行い新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限努める。

#### **【終わりに】**

25. 厚生労働省推奨の新型コロナウイルス感染症確認アプリ(COCOA)を各チーム関係者(観戦者含む)、選手がスマートフォンにインストールし、感染確認、拡大防止に利用することをお勧めする。

※ 本ガイドラインは秋田県バスケットボール協会のガイドラインを元に本交流大会用に作成したものです。今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、順次改定することがあります。

※ 熱中症にも十分考慮して大会を進めますが各チームにて**熱中症対策用品(OS-1、塩タブレット等)の用意にもご協力下さい。**

秋田県立田沢湖スポーツセンター

大会運営総責任者 運営部長 今野敏行

感染対策責任者 副支配人 民谷資郎

感染対策責任審判員 係長 田口博規

お問い合わせ e-mail [event@tazawako-sports.com](mailto:event@tazawako-sports.com)